

JIS A 6909 建築用仕上塗材
内装薄塗材E 認証取得製品

ホルムアルデヒド
放散等級 F★★★★

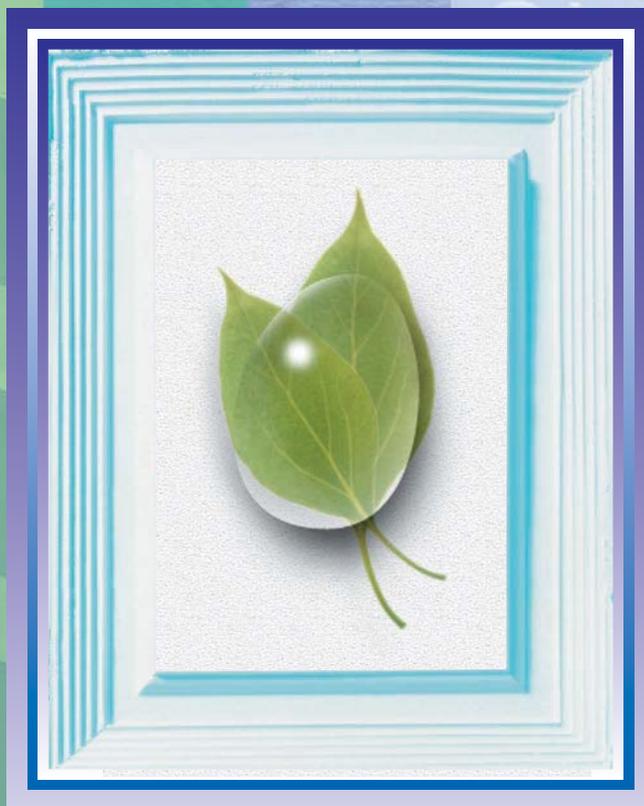
内装用天然素材セラミック系高調湿塗材

SK調湿ウォール[®]

SK BREATHE WALL

TVOC1%未満を実現

防火認定材料(NM-8572/不燃、QM-9812/準不燃、RM-9361/難燃)
※フラット仕上げ、シルク仕上げ、ウェーブ仕上げ



調湿性

珪藻土
配合

ホルムアルデヒド
低減

SK調湿ウォール

SK BREATHE WALL

低VOC設計と優れた調湿機能で、快適室内空間を提供します。

SK調湿ウォールは、日本の伝統的建築仕上げである自然感覚の土塗壁を、現代風にアレンジし、「土」の優しさ、豊かさをさりげなく漂わせる新感覚の内装用装飾仕上塗材です。
 またSK調湿ウォールは、TVOC（総揮発性有機化合物）1%未満を実現すると共に、天然素材である珪藻土と多孔質セラミック軽量骨材を配合することで、室内の湿度を常に一定に保つ吸放湿機能を付与し、冬期における結露防止やかびの発生を防止します。
 さらに、ホルムアルデヒドなど、室内で発生する人体に有害な揮発性有機化合物を化学的に吸着・固定化する機能や優れた防火性能があります。（防火認定材料）

特長

● 環境保全の安心設計

室内空気汚染問題を考慮し、TVOC（総揮発性有機化合物）1%未満を実現した安心設計です。

● 調湿機能

珪藻土及び多孔質セラミック軽量骨材を配合しているため、室内の湿度をコントロールする調湿機能があります。

● ホルムアルデヒド吸着・固定化効果

ホルムアルデヒドなどの有害な揮発性有機化合物を吸着・固定化します。

● 防かび性能

特殊設計により、かびなどの微生物に対して、強い抵抗性を示し、衛生的な環境を維持します。

● 防火性

防火材料の認定を取得しています。
 (NM-8572/不燃、QM-9812/準不燃、RM-9361/難燃)
 ※フラット仕上げ、シルク仕上げ、ウェーブ仕上げが対象となります。
 ※防火認定は、コンクリート、セメントモルタルなどの法定防火基材の新設仕様に適用されます。

● 性能試験成績表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 内装薄塗材Eによる物性試験

試験項目	結果	品質
低温安定性	合格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがない。
付着強さ(標準状態)	1.1	0.3N/mm ² 以上
耐洗浄性	合格	剥がれ及び摩耗による基板の露出がない。
耐衝撃性	合格	ひび割れ、著しい変形及び剥がれがない。
耐アルカリ性A法	合格	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐変退色性	変色 ※1	5
	ひび割れ・剥がれ	なし

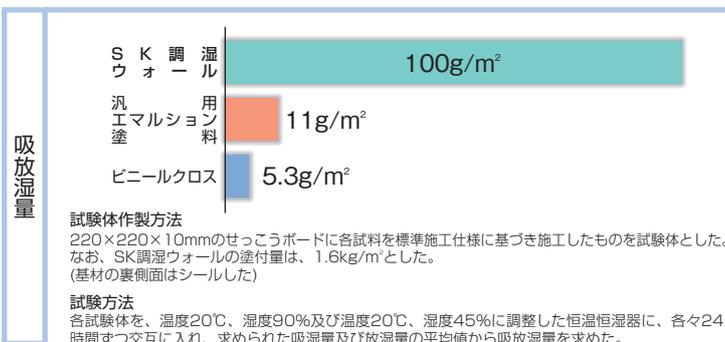
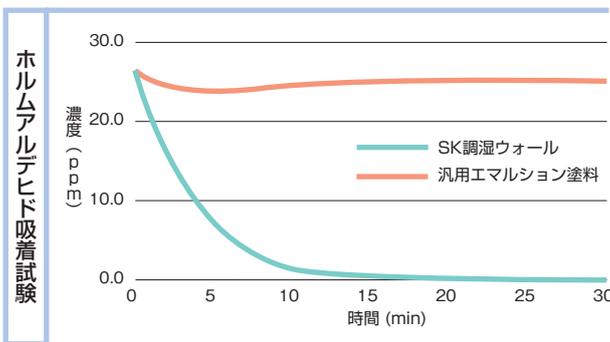
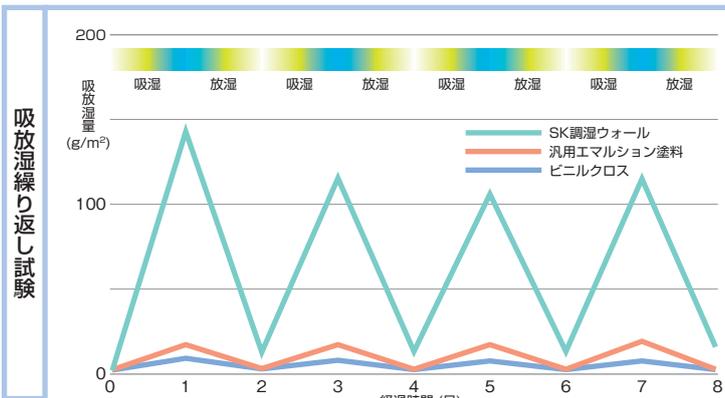
※1.グレースケール値

● 適用下地

コンクリート セメントモルタル スレート板 けい酸カルシウム板
 せっこうボードなどの各種ボード類 塩ビクロス

● 用途

住宅・マンションなどの内装、店舗・事務所の内装、ホテルのロビー



●カラーバリエーション



TW-101



TW-102



TW-103



TW-104



TW-105



TW-106



TW-107



TW-108



TW-109



TW-110



TW-111



TW-112



TW-113



TW-114



TW-115



TW-116

●パターンバリエーション



フラット仕上げ



わら仕上げ



ウェーブ仕上げ



シルク仕上げ

※写真は印刷のため、実物と多少異なります。ご了承ください。

※塗装方法によってパターンが大幅に異なることがあります。試し塗りを行い確認した後、本施工に入ってください。

※天然素材を使用しておりますので、色目が多少異なる場合があります。ご了承ください。

※わら仕上げは、天然のわらすさを使用していますので、色目・大きさにばらつきを生じます。また、わらすさを添加することにより、色目が変わることや、不均一な混合により、むらになる場合があります。ご了承ください。

※SK調湿ウォールは標準色のみを設定となります。予めご了承ください。

●荷 姿

材料名	入目	標準塗坪
SK水性ヤニ止めシーラー	15kg石油缶	100~150㎡/缶
着色バインダー	20kg石油缶	80~100㎡/缶
SK調湿ウォール	20kg石油缶	10~13㎡/缶
SKわらすさ	0.06kg袋	10~13㎡/袋

※パターンにより標準塗坪が異なりますので詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
注)上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

●危険情報と安全対策

ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。また、SDS(安全データシート)もご参照ください。
ご使用の際は、安全管理に注意して作業を行ってください。

●施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

標準施工仕様

●フラット仕上げ(せっこうボード下地の場合)

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
(パテかい) ※3	●仕上げ用パテを使用し、凹部を中心にへらでパテかいしてください。 ●P120~P180のサンドペーパーでパテかい部を中心に均一に研磨してください。							—
1 下塗り1 ※4.5	S K 水性 ヤニ 止め シー ラー	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
2 下塗り2 ※5	着色 バ イ ン ダ ー 清 水	100 0~20	0.20~0.25 —	1~2	2以上	2以上	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
3 主材塗り(1) (基層塗り)	S K 調 湿 ウ オ ー ル 清 水	100 3~5	0.8~1.0 —	1	—	4以上	—	SKKスーパーガン(万能ガン) (リシンチップ) 口径4~6mm 圧力392~588kPa
4 主材塗り(2) (模様塗り)	S K 調 湿 ウ オ ー ル 清 水	100 3~5	0.8~1.0 —	1	—	—	24以上	SKKスーパーガン(万能ガン) (リシンチップ) 口径4~6mm 圧力392~588kPa

●わら仕上げ 注:下地、パテかい、下塗り工程については、上記参照

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
3 主材塗り ※6	S K 調 湿 ウ オ ー ル S K わ ら す さ 清 水	100 0.3 0~2	1.5~2.0 —	1~2	4以上	0.5以内	—	左官ごて
4 パターン付け	左官ごてにて均一にならずように、弧を描くようにパターン付けを行ってください。				—	—	24以上	左官ごて

●シルク仕上げ 注:下地、パテかい、下塗り工程については、上記参照

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
3 主材塗り(1) (基層塗り)	S K 調 湿 ウ オ ー ル 清 水	100 0~2	0.8~1.0 —	1	—	4以上	—	左官ごて
4 主材塗り(2) (模様塗り)	S K 調 湿 ウ オ ー ル 清 水	100 0~2	0.8~1.0 —	1	—	0.5以内	—	左官ごて
5 パターン付け	SKデザイン刷毛に清水を含ませ、塗面を一定方向にランダムに、表面を掃くように、パターン付けを行ってください。				—	2~3	—	SKデザイン刷毛
6 表面処理	プラスチックごてにて表面を軽く押さえ、パターンを整えてください。				—	—	24以上	プラスチックごて

●ウェーブ仕上げ 注:下地、パテかい、下塗り工程については、上記参照

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
3 主材塗り	S K 調 湿 ウ オ ー ル 清 水	100 0~2	1.5~2.0 —	1~2	4以上	0.5以内	—	左官ごて
4 パターン付け	左官ごてにて均一にならずように、弧を描くようにパターン付けを行ってください。				—	—	24以上	左官ごて

- ※1. 施工下地の平滑性は、金で仕上げ以上としてください。
- ※2. 大壁面に施工する場合は、必ず化粧目地を入れてください。目地間隔は、たてよこ1.5m以内とし、できるだけ多く取るようにしてください。また塗り継ぎは、化粧目地で行うようにしてください。
- ※3. 仕上げ用パテが防かび剤を含有する場合、塗膜に支障をきたす可能性がありますので、試験塗りをし、十分に確認した上で本施工に入ってください。
- ※4. 下塗り1にはその他、水性ミラクシーラーエコクリヤー(15kg石油缶)もご使用いただけます。
- ※5. コンクリート、セメントモルタル、けい酸カルシウム板などの下地へは、着色バインダーから塗付してください。ただし、改裝時や、せっこうボードなど、やにが発生するおそれがある下地へは、予めSK水性ヤニ止めシーラーを塗付後、着色バインダーを塗付してください。なおSK水性ヤニ止めシーラー、水性ミラクシーラーエコクリヤーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。また小分けする時は、プラスチック容器を使用してください。
- ※6. SKわらすさ添加後、高速回転攪拌機で必要以上に攪拌すると、SKわらすさが破壊される恐れがありますのでご注意ください。
- ※7. 各標準施工仕様に記載の使用量及び間隔時間を守り、施工してください。
- ※8. 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ※9. 防かび性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび性が十分に発揮されない場合があります。
- ※10. かび付着している場合は、「SKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※11. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※12. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※13. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※14. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※15. **ロットが異なる材料は、色目が若干異なる場合がありますので、同一面での複数ロットの使用を避けてください。**
- ※16. 大壁面では、補修部分が目立つ場合がありますのでご注意ください。
- ※17. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※18. 間隔が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ※19. 塗膜の膨れ、割れ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※20. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、割れ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※21. 気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※22. 冬期・雨期など、乾燥速度が低下するおそれがある場合、送風機などにて換気、通気を良くし、できるだけ乾燥促進に努めてください。
- ※23. 調湿機能を有していますが、長期的に高湿度が続き、放湿されない状態が続くと、塗膜表面に結露が発生し、これが長時間続いた場合、かびが発生する可能性があります。これを防ぐために、定期的な除湿を心がけてください。また発生したかびは、除菌剤等で除去してください。
- ※24. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※25. 防火認定材料は、フラット仕上げ、シルク仕上げ、ウェーブ仕上げが対象となります。「所要量」は塗装条件などにより異なりますが、被塗面に付着させる塗料の「標準塗付け量」は、SK水性ヤニ止めシーラーで0.08~0.10kg/m²、着色バインダーで0.18~0.20kg/m²、SK調湿ウォールで1.3~1.6kg/m²(フラット仕上げ)、1.6~1.9kg/m²(シルク仕上げ、ウェーブ仕上げ)となります。各材料の使用数量などを算出する際は、「所要量」を基準とってください。
- ※26. 防火認定仕様、公共建築工事標準仕様 [新築・改修] につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※27. 施工時は換気に十分配慮してください。
- ※28. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- ※29. 詳しい施工方法については、別途施工マニュアルをご参照ください。



本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎ 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391 名古屋支店 052-561-7712 大阪支店 072-621-7721 広島支店 082-943-5043 福岡支店 092-629-3427
仙台北支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400 京都支店 075-646-3967 神戸支店 078-671-0451 高松支店 087-865-5411

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

【製作年月：2020年10月】 (201000.H-3)

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>

